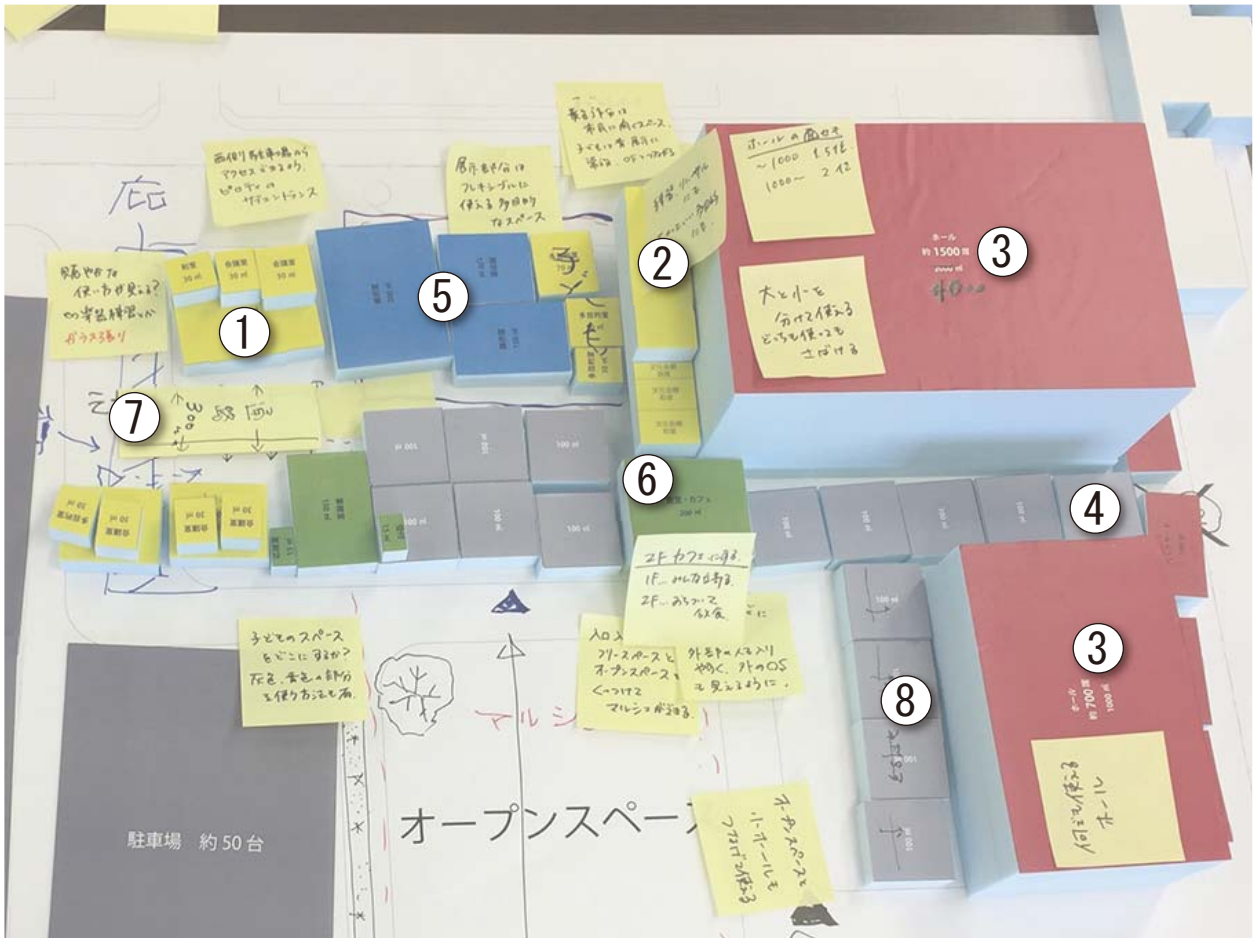


第 2 回検討委員会（2017 年 7 月 24 日開催） ボリューム検討

【グループ A】



面積配分	計 13,130 m ²	855 m ² 6.5%	670 m ² 5.1%
	1655 m ² 12.6%	7250 m ² 55.2%	2700 m ² 20.6%
活動スペース	① 多目的室は外から中が見えるようにし、楽器練習や調理設備を用いた活動のできる室とする ② 共用スペースから様子が窺えるリハーサル室としても活用できるような、音響設備の整った練習室を設ける		
鑑賞スペース	③ 大ホールは興行的に成立するように 1500 席とし、中ホールは活動の幅を広げるため 700 席程度とする ④ 両ホール間の空間はバックヤードからの搬出入口となる		
展示スペース	⑤ 普段施設を利用しない市民が気軽に立ち寄れるような展示スペースを設ける		
窓口スペース	⑥ カフェの 1 階は気軽に立ち寄れる賑やかな場、2 階は落ち着いて食事ができる場とする		
コラボスペース	⑦ 西側に通り抜け可能なサブエントランスを設ける ⑧ ホール周辺の共用スペースに 2 階やテラスを設ける		

第 2 回検討委員会（2017 年 7 月 24 日開催） ボリューム検討

【グループ B】



<p>面積配分</p>	<p>計 9,895 m²</p> <p>300 m² 3.0% 350 m² 3.5%</p> <p>1110 m² 11.2% 6785 m² 68.6% 1350 m² 13.6%</p>
<p>活動スペース</p>	<p>① 陶芸室や調理室などは専用の諸室を用意するのではなく、調理室としても利用可能な多目的室として整備する</p> <p>② 50 m²程度以上の会議室・多目的室を充実させる</p>
<p>鑑賞スペース</p>	<p>③ 大きめの会議、団体の練習、講演会等での利用が可能な、鑑賞スペースと活動スペースを兼用する平土間の大多目的室を設ける</p>
<p>展示スペース</p>	<p>④ 諸室をパーテーションで区切る、共用スペースを活用する、別の諸室を活用するなどの方法で複数の展示の開催に対応する</p>
<p>窓口スペース</p>	<p>⑤ カフェスペースは内部からも外部からもアクセスできるようにする</p>
<p>コラボスペース</p>	<p>⑥ ミニコンサートやギャラリーを催せるように、共用スペースは2層分の吹き抜け空間とする</p>

第 2 回検討委員会（2017 年 7 月 24 日開催） ボリューム検討

【グループ C】



面積配分	計 10,320 m ²	520 m ² 5.0%	350 m ² 3.4%	1320 m ² 12.8%	6480 m ² 62.8%	1650 m ² 16.0%
活動スペース	① 会議室よりも練習室等の多目的室を充実させる ② 和室は野点が行えるようにオープンスペースに面して配置する ③ ホールに直行できる練習室を設ける					
鑑賞スペース	④ 小ホールはホールとしてだけでなく様々な用途で使えるように整備する ⑤ 広さが必要となる搬出入スペースは、効率的に利用できるよう大・中ホールで兼用する					
展示スペース	⑥ 通路と一体的な展示スペース・図書スペースを設ける					
窓ロスペース	⑦ カフェにオープンスペースに開いたテラス席を設ける					
コラボスペース	⑧ 子連れの親が安心してお茶できるように、子供を遊ばせることのできるキッズスペースをエントランスホールに設ける					